

◇第2回策定委員会時の計画素案からの主な変更箇所一覧表

参考資料

番号	素案頁	最終案頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
1	13	13～14	(5) 計画期間における各年度の推計人口	(追加)	市町村計画における推計値を集計したデータを掲載	市町村計画の数値が得られたことによる追加
2	23	24～25	(1) 要介護者等の状況 ② 計画期間及び令和22年度における各年度の認定者の状況	(追加)	市町村計画における推計値を集計したデータを掲載	市町村計画の数値が得られたことによる追加
3	25～36	27～38	(2) 居宅サービスの状況～(4) 地域密着型サービスの状況		利用人数に関する実績値について修正	市町村計画の数値が得られたことによる一部修正
4	37	39	(5) 事業所の従事者の状況	(追加)	事業所からの申請等をまとめたデータを掲載	調査結果が得られたことによる追加
5	47	49	(2) 介護予防施策の充実・推進 ②「県民総ぐるみによるフレイル予防」の推進	(追加)	「オーラルフレイル」予防や「低栄養」予防等、フレイル予防の具体的な取組みの記述を追加 また、関係団体と連携し、筋力低下を予防するための「フレイル予防体操」や「オーラルフレイル」を予防するための「口腔体操」、低栄養を予防するための「低栄養予防支援ブック」の作成、普及にも取り組むことにより、「フレイル予防」の実践ポイントを正しく発信し、地域の取組みの更なる後押しに繋がっています。	第2回策定委員会の追加意見を反映
6	48	50	(2) 介護予防施策の充実・推進 ②「県民総ぐるみによるフレイル予防」の推進	(追加)	(実施目標)「フレイルサポーター養成数(累計)」を追加	

番号	素案頁	最終案頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
7	49	52	(1) 地域貢献活動等の充実支援	(追加)	高齢者のオンライン利活用に向けた支援について記載 加えて、生活のあらゆる場面でデジタル化が進む中、高齢者がオンラインを活用することで、新たな出会いや交流が図られ、「いきがいづくり」の場がさらに広がるよう、老人クラブと連携し支援して参ります。	第2回策定委員会の意見を反映
8	52	55	(2) 学習機会の提供	(追加)	高齢者のオンライン利活用に向けた支援について記載 また、高齢者がオンラインを活用することで、学びの場がさらに広がるよう、支援してまいります。	第2回策定委員会の意見を反映
9	53	56	(2) 学習機会の提供	(追加)	(実施目標)「シルバー大学校大学院における資格取得者数(累計)」を追加	
10	58	62	3 敬老理念の普及・啓発 ④ 徳島県健康福祉祭の開催	(追加)	(実施目標)「県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会等の参加者数」を追加	
11	62	66	(2) 地域のつながり機能・マネジメント機能の強化 ①地域支援事業の推進 ↓ ①地域包括支援センターの機能強化・地域ケア会議の推進 ②生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進 ③在宅医療・介護連携の推進		地域包括ケアシステム推進のための事業についてポイントを整理し、より分かりやすくなるよう内容を再構成	第2回策定委員会の意見を反映
12	78	83	(7) 多様性を尊重する社会の推進 ①多世代交流・多機能型支援の推進	(追加)	(実施目標)「ユニバーサルカフェの整備箇所数(累計)」を追加	

番号	素案頁	最終案頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
13	79	83	(7) 多様性を尊重する社会の推進 ② ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 イ ユニバーサルデザインの普及	「とくしまユニバーサルデザイン県民会議」を通じて、県民、事業者、行政の各主体が連携・協働し、それぞれの役割に応じて、積極的かつ主体的にユニバーサルデザインの普及に向けた取組を実践します。 また、県民及び事業者の意識の高揚及び知識の普及を図るため、ユニバーサルデザインの先駆的・モデル的取組に対する表彰などの各種啓発活動を推進し、すべての人が暮らしやすい社会の実現を目指します。	県民、事業者、行政の各主体が連携・協働し、それぞれの役割に応じて、積極的かつ主体的にユニバーサルデザインの普及に向けた取組を推進します。 また、県民及び事業者の意識の高揚及び知識の普及を図るため、ユニバーサルデザインの先駆的・モデル的取組について表彰するなどの啓発活動を推進し、すべての人が暮らしやすい社会の実現を目指します。	他計画（障がい者施策基本計画）と表記を合わせる。
14	82	87	(2) 地域社会における感染症対策	(追加)	高齢者のオンライン利活用に向けた支援について記載 また、様々なサービスにおいてデジタル化が加速する中、情報交換や交流など、高齢者がその利便性を実感し、安全安心に利活用できるような支援して参ります。	第2回策定委員会の意見及びパブリックコメントの意見を反映
15	85	91	(1) 普及啓発・本人発信支援 ① 認知症に関する理解促進 ア 認知症サポーターの養成	(追加)	(実施目標) 「認知症サポーター数」を追加	
16	99	104～125	1 適切な介護サービス基盤の整備	(追加)	(市町村計画におけるサービス見込量及び介護保険施設等の必要入所定員総数等の記載)	市町村計画の数値が得られたことによる追加
17	100～101	127	(4) 療養病床の円滑な転換		構成及び内容について全体的に整理・修正	第2回策定委員会の意見を反映
18	107	133	(8) 介護施設等の感染症対策の強化 ② 感染症発生時のサービス継続計画策定の支援	介護事業所等が感染症発生時においてもサービスを継続することができるよう、BCP（業務継続計画）の策定状況を把握し、「社会福祉施設・事業所における新型インフルエンザ等発生時の業務継続ガイドライン」などにに基づき、策定を支援して参ります。	感染症が発生した場合でも、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するため、BCP（業務継続計画）の策定状況を把握し、「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」などにに基づき、策定を支援して参ります。	ガイドラインが策定されたことに伴い修正

番号	素案頁	最終案頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
19	108	134～ 135	(1) 介護人材の必要数の推計	(追加)	(介護保険サービスの見込量に基づいた介護人材の需給推計を掲載)	市町村のサービス見込量が得られたことによる追加
20	109	136	(2) 介護人材の確保に向けた取組 ①介護人材の裾野の拡大	(追加)	(実施目標) 「介護に関する入門的研修全課程(2課程) 修了者数(累計)」を追加	
21	109	137	(2) 介護人材の確保に向けた取組 ④徳島県版「介護助手」制度の展開	(追加)	(実施目標) 「モデル事業による「介護助手」の雇用施設数(累計)」を追加	
22	111	139	(3) 介護人材職場定着支援 ③介護ロボット・ICTを活用した業務効率化	(追加)	(実施目標) 「業務効率化のための ICT 導入事業所数(累計)」及び「介護事業所における介護ロボット導入事業所数(累計)」を追加	
23	112	141	(4) 介護人材の養成・専門性の向上	(追加)	(実施目標) 「主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数」を追加	
24	121	149	(1) 介護給付適正化の推進	(追加)	(実施目標) 「全居宅介護支援事業者にケアプラン点検を実施した保険者数」「多職種との連携による住宅改修の点検を実施した保険者数」を追加	一部パブリックコメントの意見意見を反映

番号	素案頁	最終案頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
25	121	150	(1) 介護給付適正化の推進 ○ 保険者が実施する介護給付適正化事業のための県の支援並びに協力	② 介護給付適正化に係る研修事業の実施 介護給付適正化の取組に必要な知識や適正化システムの操作方法、ケアプラン点検などの技能習得、適正化事業への理解を深めることを目的とした研修会を実施します。	② 要介護認定の適正化に係る研修会 要介護認定の適正な実施のため、認定調査員、介護認定審査会委員及び主治医等に対して研修会を実施します。また、実施に当たり、①の分析データを用いて更なる研修の充実を図ります。 ③ケアマネジメントの適正化に係る支援 (1) 介護支援専門員に係る支援 介護保険制度の要である介護支援専門員の養成及び資質向上のため、介護支援専門員実務研修や現任者を対象とした研修等を体系的に実現するとともに、主任介護支援専門員を対象としたスキルアップ研修を実施します。 (2) 保険者・介護支援専門員双方に係る支援 保険者がケアマネジメントの本質を適切に理解し、利用者にとって必要なサービスが過不足なく適切に提供されるよう、専門的な知識を有するアドバイザーを派遣し、ケアプラン点検の適正化の推進を図ります。	研修事業について詳細説明
26		180	参考資料	(追加)	(策定委員会の要綱、名簿、審議経過、関連計画の策定状況、地域包括支援センター一覧、各種相談窓口一覧を追加)	
27			全般		・ 関連する動画を本文中で紹介 (QRコード掲載) ・ 写真を追加、最新のものに更新	